

DAIDO STEEL GROUP **Beyond the Special**



# Business Report

第**98**期 株主通信

2021年4月1日から2022年3月31日まで

 **大同特殊鋼株式会社**

証券コード 5471



代表取締役社長

石黒 武

## ステークホルダーの皆様との共創を通じて、 持続可能な社会の実現に貢献します。

株主の皆様には、平素より大同特殊鋼および大同特殊鋼グループ各社をご支援いただきまして、誠にありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。

当社第98期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の株主通信をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

大同特殊鋼グループは、経営理念を「素材の可能性を追求し、人と社会の未来を支え続けます」と定めております。特殊鋼をはじめとする素材および素材に関する技術の高度化を継続的に推進し新たな価値を創造することにより、多様化する社会のニーズに応え、その発展につながるよう貢献し続けることをめざしております。

21年度は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた20年度に対して、自動車向けを中心に幅広い分野で需要が回復いたしました。前年度比では大幅な増収増益となりましたが、年度後半では新型コロナウイルス感染症の再拡大による自動車生産の調整や、ウクライナ情

勢による世界的な資源・エネルギー価格の急騰など、当社を取り巻く事業環境は目まぐるしく変化いたしました。

現在の事業環境といたしましては、中国のゼロコロナ政策による都市封鎖の影響や、半導体等の部材不足による自動車生産の調整継続などの大きな需要変動リスクを内包していると想定しております。また、ウクライナ情勢に起因する資源・エネルギー価格の高騰による更なるコスト増加も見込まれ、一層のコスト削減で吸収を図るとともに、引き続きお客様のご理解を得ながら販売価格への転嫁を進めてまいります。

昨年、当社は2030年のありたい姿を『高機能特殊鋼を極め、「グリーン社会の実現」に貢献する』と定め、2023中期経営計画をスタートさせました。その中で4つの行動方針を掲げましたが、中期初年度を終え滞りなく進捗しております。

「1. 成長分野のビジネス拡大」では、次期重点成長商品の開発が着々と進んでおります。

「2. 事業体質の強靱化」では、適正マージンの確保に向けた販売価格の改定に加え、生産能力の上方弾力性確保を進めております。

「3. 海外展開拡大」では、海外M&Aや連結子会社の海外拠点立ち上げなど、拡販に向けた取り組みが順調に進んでおります。

「4. ESG経営の推進」では、CO<sub>2</sub>削減に向けた取り組みを加速させるとともに、ガバナンス強化として監査等委員会設置会社への移行などを進めております。

引き続き、2050年カーボン・ニュートラルに向けた将来の成長分野へ経営資源を投入するとともに、持続可能な社会の実現に向けたESG経営を推進し、大同特殊鋼グループ一丸となり人と社会、そしてお客様に貢献し続けます。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

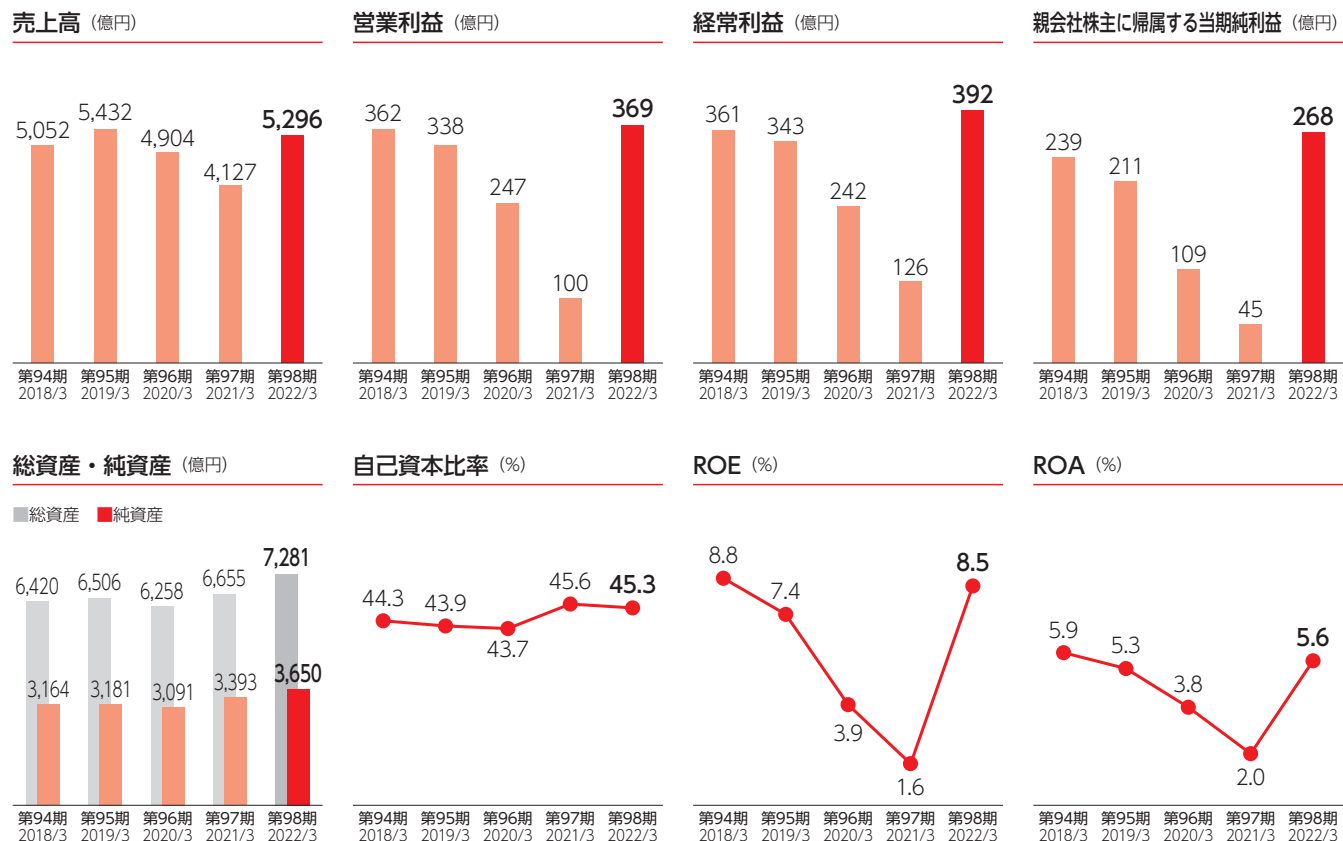
2022年6月

## 売上数量増、販売価格改善により増収増益

特殊鋼の需要は、新型コロナウイルス感染症の影響で大幅に減少した前年と比べ大きく回復しました。自動車関連の受注は、自動車生産の回復に加え、更なる増産に備えた在庫補填により増加しました。産業機械関連の受注は、国内外の景気回復に伴い堅調に推移しました。半導体関連の受注は、5Gやデータセンター、車載向けなど幅広い需要が拡大し、高い水準が継続しました。

一方、主要原材料の鉄スクラップおよびニッケルなどの合金類の価格が高騰したうえ、原油・LNG市況のひっ迫によりエネルギーコストも大きく増加したことを受け、販売価格の改善を行いました。

この結果、売上高は5,296億67百万円、営業利益は369億82百万円となりました。



# 大同特殊鋼グループ 2023中期経営計画

中長期では温暖化抑制などにより経営環境は大きく変化するものの、今後3年間は内燃機関向け製品の数量減少などの環境変化は限定的と認識しております。2023中期経営計画では、2020中期経営計画の行動方針を深化させつつ、2030年のありたい姿を具現化するため、将来の環境変化に備えた事業活動を推進します。

## 前中計の振り返り

### 基本方針

「機能性に優れた素材で、お客様の技術革新を支える」

### 行動方針

#### 1 ポートフォリオ改革

機能材料・磁性材料に積極投資、売上高トップのセグメントに

- 特殊ステンレス鋼、高合金の戦略投資完了
- 先進磁性材料開発センター新設

#### 2 事業基盤の強化

- ベース値上げによるマージン改善
- 働き方改革の推進

#### 3 事業の再構築

ターボハウジング事業の健全化

- 中国子会社譲渡、減損等事業の見直しを推進

#### 型鍛造事業の構造改革

新型コロナウイルス感染症の影響により、投資した設備の効果の発現は先送り

## 中期の事業環境

自動車、半導体製造装置、重電向けは堅調

航空機は低調継続

エンジニアリング事業は徐々に復調

原材料高騰、エネルギーコスト上昇はリスク

## 2023中期経営計画

### 成長分野のビジネス拡大

高機能特殊鋼で狙う分野

**CASE**  
e-Axle(減速機)  
主機・補機・センサ(磁石)  
電流センサ/ノイズ吸収  
バッテリー

半導体関連  
半導体製造装置

**グリーンエネルギー**  
水素関連  
洋上風力

### 海外展開拡大

拡大し続ける東アジア市場を中心に高機能材料(高機能ステンレス鋼、高合金、工具鋼)の売上拡大をめざす

- サプライチェーン構築による成長分野捕捉と顧客開拓
- コスト競争力強化
- 海外規格への対応
- 印Sunflag社とのアライアンス活用
- 体制強化(人員配置)

## 4つの行動方針

### 事業体質の強靱化

外部環境変化への耐性強化(既存事業のプレゼンス拡大)

- 営業**
  - 適正マージンの確保
  - 新ポートフォリオ改革(高収益品拡大)
- 生産**
  - 上方弾力性確保(生産効率改善、使用鉄源の多様化)
  - 高機能材、難加工材の生産能力強化
  - 低コスト生産の追求(生産集約、歩留向上、省人)
- 人材**
  - 人員最適配置、適正化
  - DX、RPA推進による省工数・省人

### ESG経営の推進

脱炭素社会への貢献 / CO<sub>2</sub>排出量削減

「Daido Carbon Neutral Challenge」

2030年のCO<sub>2</sub>排出量 **50%削減** (2013年度対比) → 2050年のCO<sub>2</sub>排出量 **実質0へ**

- 中期での取り組み**
  - 熱ロス極小化改善・高効率燃焼改善
  - 設備省エネ・効率化・CO<sub>2</sub>フリー電源活用

社会的責任の遂行：従業員の健康・安全を全てに優先し、社会からの信頼性確保、多様な取り組み(健康経営、人権/ダイバーシティ、働き方改革、ホワイト物流)を深化  
コーポレート・ガバナンスの強化

## 2030年のありたい姿

高機能特殊鋼を極め、「グリーン社会の実現」に貢献する

世界規模での地球温暖化抑制への取り組みが本格化しており、CO<sub>2</sub>排出量削減を目的とした社会構造の転換が進展しております。当社の主要需要先である自動車産業においては電動化が加速し、内燃機関自動車は2020年代半ばにピークアウトすることが想定されます。また化石燃料からグリーンエネルギーへのシフトにより、洋上風力や水素が新たなエネルギー源として注目されています。またデジタル革命の加速により、情報通信などデジタル化を支える半導体産業は、今後も持続的な成長が見込まれます。

当社を取り巻く外部環境が目まぐるしく変化するなかでも、経営理念である「素材の可能性を追求し、人と社会の未来を支え続けます」を実現するため、今回2030年のありたい姿として「高機能特殊鋼を極め、「グリーン社会の実現」に貢献する」を策定しております。

当社グループは、これまで機能性に優れた素材でお客様の技術革新を支えてまいりました。この方針に変更はありませんが、これからの外部環境変化に適応するため、事業の強靱化を進め、環境変化への耐性を強化するとともに、高機能特殊鋼を極めることにより新しい社会ニーズに応えることで、グリーン社会の実現に貢献していきます。

## 2023年度 数値目標

営業利益  
**400**億円以上

自己資本利益率(ROE)  
**8.0%**

D/Eレシオ  
**0.5**

投資3年累計決裁ベース  
**850**億円

鋼材売上数量(単体)  
**1,200**千トン

配当性向の考え  
**30%**目安

## 中国での特殊鋼販売強化 米社中国営業拠点を取得

当社は、2021年7月に米国特殊鋼メーカーのティムケンスチール社の中国営業拠点を取得しました。新たにグループに加わった大同斯蒂尔材料科技(上海)有限公司は、非常に過酷な用途向けに設計された特殊鋼製品、高合金、特殊ステンレス鋼を中国市場で拡販していきます。

当社とティムケンスチール社は、2007年に特殊鋼の製造と供給に関する協業に着手、2009年には中国および東アジアでの商業協定を開始するなど、品質要求の高いお客様に対し、両社の技術力を最大限に発揮し、特殊鋼製品を提供してきました。今後も協業関係をさらに深化させ、お客様への提供価値の一層の向上をめざしていきます。



ステンレス鋼

## 「統合レポート2021」を発行

ESGを踏まえた長期視点から経営方針、取り組みを報告するツールとして、当社は2006年から環境報告書に代えてCSR報告書を、2020年にはサステナビリティレポートを発行してきました。さらに中長期的な企業価値向上の実現をめざし、価値創造プロセスや戦略、マテリアリティの進捗等の項目を加え、ESGに関する取り組みを総合的にわかりやすく伝える報告書として内容を充実させた「統合レポート」を2021年に初めて発行しました。気候変動に対する取り組みやグリーン社会の実現に貢献する技術の特集しています。本レポートの報告対象期間は2020年4月1日から2021年3月31日までで、当社ホームページからダウンロード可能です。



統合レポート2021

## 金型に最適な3Dプリンタ用金属粉末を発売

当社は、金型に適した3Dプリンタ用金属粉末HTC™を開発し、2021年4月から販売を開始しました。従来の加工技術では困難であった複雑な内部構造を造形できる3Dプリンタは、金型向けのニーズが高まっています。HTC™で造形した金型は、一般的な金型用鋼材のSKD61で製造した金型に比べて割れにくく、さらに従来の3Dプリンタで用いられるマルエージング鋼製の金型に比べて長寿命化が期待できるうえ、成形の生産性を高めることができます。また、マルエージング鋼に含まれる特定化学物質のコバルトも使用していません。

当社は3Dプリンタに適した金属粉末の開発を推進し、3Dプリンタ技術の発展に貢献していきます。



HTC™を用いた模擬型造形例

## 佐川真人顧問が「エリザベス女王工学賞」を受賞

工学分野で国際的に優れた技術者を表彰する英国の「エリザベス女王工学賞」を、当社の顧問である佐川真人が2022年2月に受賞しました。グリーンな省エネ技術の実現に貢献する世界最強の永久磁石「ネオジウム磁石」の発明、開発および世界的な商業化の功績が受賞の理由です。同賞は、画期的な技術革新により世界に多大な恩恵をもたらした個人またはグループを表彰するものです。佐川が発明したネオジウム磁石は高出力・高効率が求められる電気自動車や風力発電機などのモーター、小型・軽量で強力な磁石が必要とされるロボットや自動化システム、家電などさまざまな分野において製品の高性能化に貢献しています。



佐川真人顧問

連結貸借対照表

（単位：百万円、端数切捨て）

科目	当期 2022年3月31日現在	前期 2021年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	391,686	319,364
固定資産	336,500	346,142
有形固定資産	223,701	231,846
無形固定資産	3,776	2,721
投資その他の資産	109,022	111,574
<b>資産合計</b>	<b>728,187</b>	<b>665,506</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	230,104	181,445
固定負債	133,078	144,706
<b>負債合計</b>	<b>363,183</b>	<b>326,152</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	303,179	280,297
資本金	37,172	37,172
資本剰余金	31,228	30,427
利益剰余金	238,443	216,357
自己株式	△ 3,663	△ 3,660
その他の包括利益累計額	26,533	22,846
その他有価証券評価差額金	21,323	25,627
繰延ヘッジ損益	10	△ 26
土地再評価差額金	657	657
為替換算調整勘定	4,968	290
退職給付に係る調整累計額	△ 426	△ 3,702
非支配株主持分	35,290	36,210
<b>純資産合計</b>	<b>365,004</b>	<b>339,353</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>728,187</b>	<b>665,506</b>

連結損益計算書

（単位：百万円、端数切捨て）

科目	当期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	前期 2020年4月1日から 2021年3月31日まで
<b>売上高</b>	<b>529,667</b>	<b>412,722</b>
売上原価	437,556	351,526
売上総利益	92,111	61,196
販売費及び一般管理費	55,128	51,126
<b>営業利益</b>	<b>36,982</b>	<b>10,070</b>
営業外収益	4,766	6,753
営業外費用	2,548	4,181
<b>経常利益</b>	<b>39,200</b>	<b>12,642</b>
特別利益	5,497	143
特別損失	3,951	2,720
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>40,746</b>	<b>10,065</b>
法人税、住民税及び事業税	12,475	4,413
法人税等調整額	△ 1,354	△ 315
<b>当期純利益</b>	<b>29,625</b>	<b>5,968</b>
非支配株主に帰属する当期純利益	2,730	1,451
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>26,894</b>	<b>4,516</b>

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円、端数切捨て）

科目	当期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	前期 2020年4月1日から 2021年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 16,684	33,766
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 14,568	△ 29,395
財務活動によるキャッシュ・フロー	19,402	2,999
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,936	17
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 9,914	7,387
現金及び現金同等物の期首残高	65,558	57,843
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	328
現金及び現金同等物の期末残高	55,644	65,558

会社概要

（2022年3月31日現在）

社名	大同特殊鋼株式会社
英文社名	Daido Steel Co., Ltd.
本社所在地	〒461-8581 愛知県名古屋市中区東桜一丁目1番10号 アーバンネット名古屋ビル
創業	1916年8月19日
設立	1950年2月1日
資本金	371億7,246万4,289円
従業員数	12,605名(連結) 3,332名(単独)

取締役

（2022年6月24日現在）

代表取締役会長	嶋尾正
代表取締役社長	石黒武
代表取締役副社長	西村司
代表取締役副社長	清水哲也
代表取締役副社長	利光一浩
取締役	山下敏明
取締役	梶田聡仁
取締役（社外/独立役員）	相馬秀次
取締役（社外/独立役員）	山本良一
取締役（社外/独立役員）	神保睦子
取締役常勤監査等委員	志村進
取締役常勤監査等委員（社外/独立役員）	水谷清
取締役監査等委員（社外/独立役員）	松尾憲治

株式の状況

（2022年3月31日現在）

発行可能株式総数	116,000,000株
発行済株式の総数	43,448,769株 （自己株式 809,979株を含む。）
株主数	18,257名

大株主（上位10名）

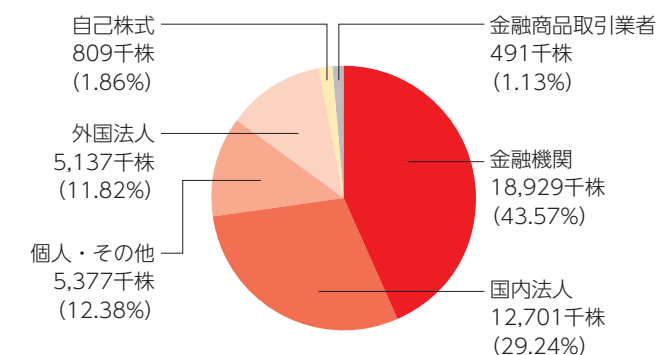
（2022年3月31日現在）


株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,142	12.06
日本製鉄株式会社	3,100	7.27
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,398	5.62
明治安田生命保険相互会社	2,075	4.86
株式会社みずほ銀行	1,577	3.69
日本発條株式会社	1,449	3.39
株式会社三菱UFJ銀行	1,405	3.29
本田技研工業株式会社	1,305	3.06
トヨタ自動車株式会社	869	2.03
三菱UFJ信託銀行株式会社	758	1.77

※自己株式は除いております。

所有者別株式分布状況

（2022年3月31日現在）



事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL <a href="https://www.daido.co.jp/koukoku.html">https://www.daido.co.jp/koukoku.html</a>
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  0120-782-031
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 全国本支店
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場 名古屋証券取引所 プレミア市場

### 未払配当金の支払いに関するお申出先

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設された株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 配当金受取方法のお取扱いについて

従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての銘柄の配当金のお受取りや、証券会社等の口座でも配当金のお受取りが可能となります。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問合せください。



### WEBサイトのご案内

当社は、インターネット上にホームページを開設し、企業情報提供による知名度・理解度向上、社外との情報交換を促進するとともに、調達・販売・技術のグローバルなコミュニケーションの場として、さまざまな情報をご案内しております。



<https://www.daido.co.jp/>

